



# 神鍋線「上限200円バス」社会実験!

## 「意見交換会を開催しました」

市では、地域・運行事業者との協働で、大切な地域の公共交通を次世代に引き継ぐ試みとして、神鍋線「上限200円バス」社会実験を実施しました。

地域住民の方々に実験結果を報告し、4月以降の神鍋線のあり方について、意見交換会を開催しました。

### 地域での意見交換会

社会実験の結果を踏まえ、神鍋線のあり方について意見交換会を開催しました。

○11月18日(日)：西気地区意見交換会 参加者45人

○11月26日(月)：清滝地区意見交換会 参加者95人

### 〈主な意見〉

- ・ 運賃が上限200円になったことで外出機会が増えた
- ・ 早朝と夜の増便で、通勤・通学がうんと便利になった
- ・ 一部ダイヤの設定に、もう少し調整が必要であった
- ・ バス停や路線の設定に改善が必要だ
- ・ 三者の協働事業だが、地元が危機感や思いを共有できていない

《問合せ》都市整備課交通政策係 ☎23-17712

・ 地域にとってチャンスと考え、もっと認識を共有して取り組むべきだ など

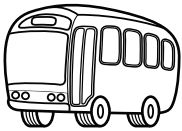
「利用者の負担軽減」と利便性の向上」に対しては、利用増につながったと認められる意見がありました。その一方で、路線計画の改善や地元の意識共有を指摘する声も寄せられました。

### 収入実績

(昨年10月～今年9月)

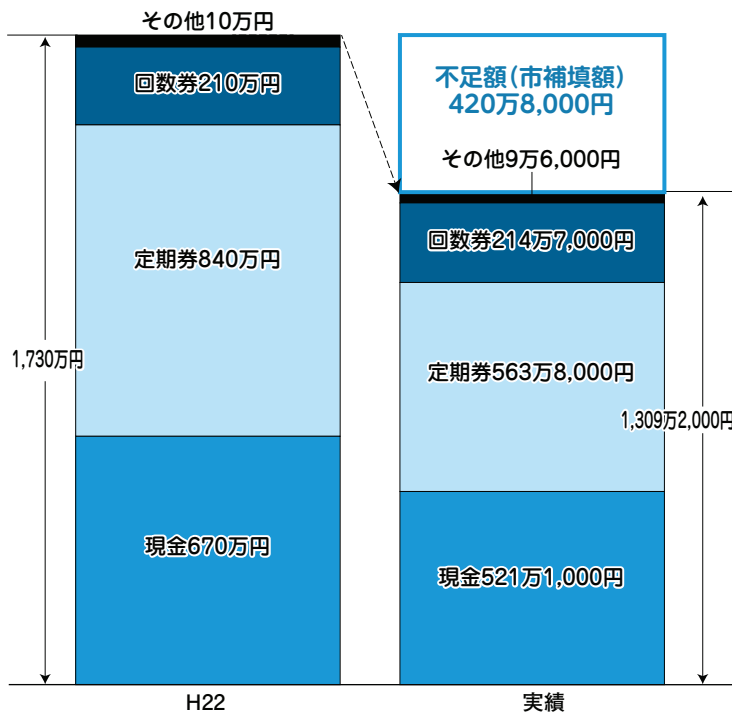
・ 運賃収入 1309万2千円(目標：1730万円)

この収入を基に利用人数に換算すると、9万2405人に相当します(実験開始前と比較して、1・5倍に増えているといえます)。



実験の結果では、利用者数の増加に一定の効果が見られたものの、従前の運賃収入の確保には至りませんでした。今後は、利用状況の分析結果や地元での意見交換の内容を踏まえ、4月以降のあり方を示す予定です。

### 《収入状況》



▲意見交換会の様子

### 公的年金等の申告不要制度

次の①と②の両方に該当する場合、所得税の確定申告(提出・納税)が不要です(平成23年改正)

- ① 公的年金等の収入金額の合計額が400万円以下
  - ② 「公的年金等に係る雑所得」以外の所得金額が20万円以下
- ※②の例：給与の収入金額が85万円以下の場合
- 計算式** 85万円(収入金額) - 165万円(給与所得控除) = 20万円(給与所得金額)



ただし、この場合でも、所得税の還付を受けようとする方は、確定申告書の提出が必要です。

「注意ください!」 所得税の確定申告が不要でも、住民税の申告が必要になる場合があります。

詳細は、市役所税務課市民税係にお尋ねください。  
《問合せ》豊岡税務署個人課税 第1部門 ☎22-2144  
市役所税務課市民税係 ☎21-9045

# 健康かわら版

市では、健康づくりに関するさまざまな取組みを行っています。健康に関する情報や取組みを12回シリーズでお届けします。

《問合せ》健康増進課 ☎ 24-11127

成功の秘訣は「見える化」です！

## ヘルスアップ教室

科学的根拠に基づく運動プログラムを、教室(週1回)と自宅とで行います。教室は、市内6会場(竹野、日高、出石、但東)で開催しています。

地域	会場
竹野	竹野健康福祉センター
	北前館
日高	県立但馬ドーム
	日高健康福祉センター
出石	出石B&G海洋センター
但東	但東健康福祉センター

また、この教室には、運動を継続できる秘訣があります。

### 運動を継続できる秘訣

その1

個人の体力を、身近な年齢(体力年齢)で「見える化」!

その2

歩数などの運動の実施量や体重などの変化をグラフで「見える化」!

その3

専用歩数計でいつでもどこでも歩数を「見える化」!

その4

目標に対する運動実施量をレポートで「見える化」!

### ◆お知らせ

- ヘルスアップ教室体験会および同教室参加者募集を、市広報紙に掲載します。
- 教室体験会：1月10日発行の市広報紙
- 教室参加者の募集：1月25日発行の市広報紙



▲体組成計での測定



▲体重などをグラフで「見える化」

※ヘルスアップ教室の詳細は、健康増進課に問合せ、または市ホームページをご覧ください。

地域の中で何かが変わってきています!

## 健康づくり推進モデル事業

「玄さん元気教室」

健康づくり推進モデル地区「下陰区」「桑野本区(竹野地

域)では、医師で熊本大学教授の都竹茂樹さんが、自身に合った運動と食事に関し、講義と実技を交えながら指導しました。

8月28・29日の開始から3カ月が経過し、そろそろ身体に変化が現れる12月初めに、参加者から喜びの声が届いています。

区内での変化と参加者の声を紹介します。

### 【下陰区】

- 顔見知りが増えた
- 歩数計を付けている人は、1歩でも歩くのが楽しみになった様子
- 雑談の中で運動教室や歩数の話題が出るようになった
- 歩く人が多くなり、「歩こうで！」と声を掛け合うようになった
- 寄合いのとき、自家用車の利用が減った
- 区内での共通の話題が増えた

### 【桑野本区】

- 例えば、運動教室や歩数の話題で盛り上がりつつある
- 歩いている姿をよく見掛けるようになった
- 姿勢が良くなった人が多くなった

- 人と会話する機会が増えた
- 歩いている人の足が軽く見える
- 目的が一緒のため、交流が今まで以上に密になった



▲グループワーク(下陰区)

このように、個人から区へと、個人の健康づくりが区の元気に変わりつつあるように感じられます。

同一区内で声を掛け合い、一緒に玄さん筋トレやウォーキングを取り組むことで、区の間がよりつながり、関係が深まり始めている。

今後は、運動効果だけでなく、地域のつながりについても効果検証を行い、成果を公表します。